

## 第1回大阪府スマートシティ推進本部会議 議事概要

■日時： 令和2年4月1日(水)11:20~11:35

■場所： 新別館南館8階 大研修室

■吉村知事、山野副知事 指示事項まとめ

◇吉村知事

スマートシティ推進について

- ・スマートシティの推進にむけて部局横断的な対応が必要、連携して進めてほしい。
- ・5年後の万博が大阪の成長の一つのターニングポイントになる。ここに向けて、府民のQOLを良くしていくために新しい技術を活用してほしい。そのためにも、スーパーシティ認定の獲得、規制緩和は全力で進めてほしい。
- ・e-府庁の施策は各部長のマネジメントのもと推進をお願いしたい。

コロナ対策について

- ・大阪府にとって非常に重要な喫緊の課題。府民の命を守るということを最優先に取り組んでほしい。
- ・コロナスワットチームを通じ、ICTを使った対応で何かできないかとか、そういった視点から、まずはコロナの対策に取り組んでほしい。また、これを機に業務のあり方を見直し、テレワーク等進めてほしい。
- ・業務の中で、コロナ拡大三要素はできるだけ避け、感染拡大防止策に努めてほしい。
- ・府庁が感染源エリアになってしまうと、府民の皆さんの行政サービスを提供できなくなる。危機意識を持ってもらいたい
- ・コロナで大阪の経済を死なせてしまってはいけない。大変ではあるが大阪府庁全体で対策対応に取り組んでほしい。

◇山野副知事

- ・テレワーク環境整備について、できる限り前倒しで対応をお願いしたい。
- ・ペーパーレス推進について、まずは前提となる業務の見直しをしっかりと行ったうえで、紙ベースでやる必要のないものについては徹底的に省略化を図るようお願いしたい。

■発言詳細

(坪田スマートシティ戦略部長)

それでは、大阪府スマートシティ推進本部会議を開催させていただきます。

あらためまして、本日、「スマートシティ戦略部」が発足し、先ほど知事からスマートシティ戦略部長を拝命しました坪田でございます。よろしくお願ひいたします。

みなさまのご協力のもと、住民のQOL向上を目指し、スマートシティ・大阪の実現に尽力してまいりたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは、第1回スマートシティ推進本部会議の議事に入らせていただきます。

最初に、私の方から、推進本部会議の設置の趣旨について、ご説明させていただきます。

昨年度、スマートシティ戦略準備室を中心に、「大阪スマートシティ戦略 Ver1」を策定いたしました。今後は、2025年の万博を見据え、大阪のスマートシティ化に全庁挙げて本格的に取り組んでいく必要があります。

そのためには、部局横断的な連携により課題解決を迅速に図っていくことが不可欠と考えております。そこで、本日、部の新設とあわせて、知事をトップといたします「大阪府スマートシティ推進本部」を設置させていただきました。

昨年度策定されました戦略のもと、庁内の連携体制をより一層強化し、スピード感をもってその実現につなげていければと存じます。

なお、スマートシティ戦略部といたしましても、当面はコロナ対策に最優先で取り組むため、部内に「コロナ スワットチーム (Corona SWAT Team)」を今週中にも立ち上げる予定でございます。各部局から、例えばICTを活用してこんな対策ができないかというようなご要望も、ここで受け付け、迅速に対応していく所存ですので、どうぞご活用いただければと存じます。

それでは、資料に基づき、推進本部会議の位置づけ等について、事務局からご説明をさせていただきます。

(吉田スマートシティ推進監)

それでは事務局のほうから、資料に基づきましてご説明をさせていただきたいと思えます。タブレットの「12番説明資料」と書いてある資料をお開きいただければと存じます。

まずは1ページのほうに位置づけについて書かせていただいております。もともと特区推進本部政策局のなかにあったのですが、これを発展的に解消させていただきまして、さきほど部長からもございました通り、スマートシティ戦略を全庁挙げて進めていく組織として、知事をトップとするこの推進本部会議を発足設置させていただくことにしました。

本部長は知事、副本部長は山野副知事、メンバとして各部長様が本部員という形で構成を考えております。その下に各部局の次長様で構成する幹事会を置かせていただき、いろいろな具体的な調整をしていただくと。そして、その下で、モビリティとかヘルスケアとかテレワークとかICTガバナンスとか書かせていただいておりますけど、いろいろなテーマに応じて各部局横断的に専門部会を置かせていただき、取り組みを進めたいと思えます。

そこにICTガバナンス部会については特記して書かせていただいております。これについては行政情報推進委員会というのを昭和の時代に立ち上げました。ここで何をやっていたかという、システムネットワークの最適化とか庁内ネットワークのセキュリティとか、技術的な事項を取り扱う組織でした。今回、それも推進本部の中に位置づけて、スマート戦略部長をCIOトップとして、各部局の総務担当課の方を構成員とする部会として、システムネットワークの管理とか、調整とかをさせていただきたいなと思っております。

一番下、先ほど部長からもございましたように、部内の中で考えておりますコロナ対策、各部局の皆様、日々取り組んでおられると思えますけど、その取り組みをサポートさせていただく組織として、スマート戦略部内にチームを作らせていただいて、各部局の皆様のいろんな相談をもとに、対応させていただきたいなと思っております。

ちなみに先ほどの特区推進本部解消と申し上げましたが、ICTの取り組みを初め、これからも規制緩

和事項にいろいろあがってくると思います。引き続き特区を通じた規制緩和という取り組みも続けていきたいと思っていますので、各部局の皆様につきましても、ご協力の程よろしくお願ひしたいと思ひます。2 ページ目がそれを体制図に落とし込んだものでござひます。ご覧いただけたらと思ひます。

続きまして3 ページ目をめくっていただきたいと思ひます。今申し上げました推進本部ですが、これは大阪府庁内の推進体制です。昨年度の8月に立ち上げました大阪スマートシティ会議というところで、大きな方向性、知事、市長をトップとしてとして大阪のスマートシティ化に関する大きな方向性について議論いただひています。

その方針のもと、大阪府ではこの推進本部という体制を使いまして、具体的な取り組みを進めていくと。カウンターパートの大阪市の方なんですけど、ICT 戦略推進本部というのがござひますんで、大阪市がこの本部体制を通じて、市役所を挙げて取り組みを進めておられるというふうに向つてます。

このスマートシティの取り組み、オール大阪で進めていくにあたりまして、やはり現場の市町村の皆様と連携していく必要があると。この推進連絡会議というのを去年6月に立ち上げておりますので、この大阪府庁で立ち上げましたその推進本部と連絡会議と連携しながら、いろんな取り組み支援を進めていくことで、府庁、大阪府全体のスマートシティ化つていうのを進めていきたいなと思つてます。その実行体制をこのページで示させていただきます。

次のページめくっていただひいて、5 ページ目以降に各部が現在行つておられるスマートシティの推進事例を取りまとめさせていただきます。府庁の中では、様々な取り組みを既にしていただひています。さらに、やはり大阪府域全体のスマートシティ化を進めていくに当たりましては、やはり旗振り役となる大阪府庁のスマートシティ化も進めていく必要があると思つてます。

また、先ほど部長からもありましたように、住民 QOL の向上というのを進めていくためにも、スマートシティ戦略部、全庁あげて、e-府庁に向けてさらなる取り組みを進めていただけたらと思つてます。そのために、先ほど部長からもありましたように、我々スマートシティ戦略部も、コロナ対策も含め、いつでも皆さんの各部局の業務のスマート化のサポートをさせていただきますというふうに向つておりますので、何か悩みごと、困りごと、ICT 関係でござひましたら、いつでもお声掛けいただけたらなと思つております。

(坪田スマートシティ戦略部長)

事務局からの説明は以上でござひます。時間に限りはありますが、とくにこの際、ご意見があれば願ひします。

(山野副知事)

2点ありまして、1つはテレワークなんですけど、現下の情勢ですので、こちら令和2年度の予算で対応するとありますけど、できるだけ前倒して環境整備をお願ひしたいと思ひます。今でも LINE ワークスを使った連絡体制がありますけど、この機会にテレワークをちゃんとできるように、できるだけ早めの環境整備をお願ひしたい。

もう1つはペーパーレスの関係なんですけど、年度末に規則改正の色々な決裁が上がってきているが、非常に細々としたものまで、紙状の規則改正をやっている。前提となる業務の見直し、ここをしっかりとやれるようにお願ひしたい。その上での、ペーパーレス。多くの資源を集中させる意味が全くないことを、どんどん省略していくことも検討してもらいたい。

(坪田スマートシティ戦略部長)

ありがとうございました。

最後に、吉村知事よりご発言をお願いいたします。

(吉村知事)

まず昨年、府知事選挙において、大きな府民との約束ということで、万博を見据えたスマートシティの実行という、大きな公約を掲げました。大阪都構想も、もちろん大きく公約として掲げましたが、それ以外のことで何かといえば、常に私はこのスマートシティというのを掲げました。もちろん皆さんが今、部局で取り組んでおられる府政は非常に重要なことで、それは当然実行していただくというのが前提ですけども。府民の皆さんにも約束をしたことでもありますし、私自身も必要だと思って掲げました。

昨年スマートシティ戦略準備室を設置しまして、その戦略の中身というのを詰めてきました。いよいよ今日、大阪府庁内に新たな組織としてのスマートシティ戦略部が立ち上がりました。

また民間からも、坪田部長にも来ていただきました。大阪のスマートシティというのを更に加速化していきたいと思いますので、よろしくお願いします。

早速、コロナスワットチームを今週中にも立ち上げていただくということでスピーディーな対応を取ってもらってると思います。

ICTを使ったこれからの業務のあり方、テレワーク等ぜひ進めてもらいたいと思いますし、それ以外でも、今コロナの対応で全庁挙げて進めてますが、ICTを使った対応で何かできないかとか、そういった視点から、まずはコロナの対策に取り組んでいただきたいと思います。

そして、今日このスマート都市戦略推進本部を立ち上げたわけですが、スマートシティを全庁的に進めていくとなれば、スマートシティ戦略部だけではできません。部局横断的な対応が必要になってくると思いますので、ぜひそこは連携して、よろしくお願いします。

2025年に大阪関西万博を誘致していますが、大きな大阪の成長の一つのターニングポイントになると思っています。これを一過性のものにするんじゃなくて、万博までの5年間、そして大阪万博、そしてさらにその未来というのは非常に重要だと思っています。

まずは万博までの5年間、大阪の府民の皆さんの生活の質を新しい技術で良くしていく。財源も限られてる中、これから少子高齢化に進む中で、やはり府民の皆さんの生活の質を良くしていくために新しい技術を活用するというのは非常に重要なことだし、行政にとってもこれから求められることだと思っていますので、新しい組織、新しいチャレンジではありますが、皆さんの協力をよくお願いしたいと思います。

具体的にはスーパーシティ認定の獲得であったり、規制緩和等々、様々あります。それから府庁内のいわゆる意識改革、キャッシュレスやはんこレス、ペーパーレスといった施策も掲げています。これまで役所の中で、スマートシティというのは、皆さんの中にもストーンと落ちてこなかったところがあったかと思いますが、これからの行政にとって私は非常に重要だと思っていますので、それぞれの部長のマネジメントのもと、よろしくお願いします。

先ほど山野副知事からもありましたが、テレワークの予算化については、今のコロナの状況を踏まえたときに、緊急危機事態の対策に非常に有効な手段の一つだろうと思っています。働き方改革にも繋がっ

ていきます。

また、コロナスワットチームを立ち上げていただいて、様々な政策、取り組みをされるとと思いますが、ぜひ念頭においてもらえたらと思います。

今後、スマートシティ戦略部が旗振り役になって、各部局が連携しつつ、大阪のスマートシティというのを進めていきたいと思いますので、皆さんの協力をよろしくお願いします。

それから先ほどの部長会議でも言いましたが、今コロナの対策というのが、大阪府にとって非常に重要な喫緊の課題です。

府民の皆さんの命を守るというのが我々の使命です。そして府民の皆さんの命が今、危険にさらされている状況でもあります。

また大阪は大都市でもあるので経済を死なせてしまっはいけないという側面あることから、非常に難しい舵取りではありますが、大阪府庁全体で取り組んでいきたいと思います。

ここは健康医療部中心に実行していますが、それぞれの各部でもコロナ対策は非常に重要だということ意識して、府民の命を守るということを最優先に取り組んでもらいたいと思います。

今日の部長会議のこの形態もコロナ対策を踏まえての実施としています。これまでの部長会議は非常に狭い空間の中でやってましたが、大阪府庁内のコロナ対策として、やはり3密を避けるということでこの大きな会場でこの部長会議をしました。この趣旨を理解してもらい、ぜひ皆さんそれぞれの部局でも活かしてもらいたいと思います。

それから私自身がコロナに感染したという場合も想定して、副知事とは距離をおいた会議をしたいと思います。濃厚接触者に私と副知事がならないように取り組んでいきます。

万が一私がコロナに感染した場合には、自主（自宅）隔離をしますが、その時にはLINE ワークス等でやりとりしながら、副知事に実務的な陣頭指揮を執ってもらおうということになります。そういう意味でも、私と副知事の間は距離をとって進めていきたいと思います。

また、それぞれの部局の会議であったり、取り組みの中でも、コロナ拡大三要素はできるだけ避ける。そして、感染拡大防止策に努める。我々がいる府庁が感染源エリアになってしまうと、府民の皆さんの行政サービスを提供できなくなるおそれがあるわけですから、そこの危機意識を持ってもらいたいと思います。

あわせて、もう誰がいつ感染してもおかしくない状況でもあると思います。見えないウイルスですから。もし自分が感染したらこうだ、ということは常に意識をしてもらいたいと思いますのでよろしくお願いします。組織として府庁を停滞させないようにする、我々は府民の命を守ると。いろんな分野でやってるわけですから、そこはしっかり意識をしてもらいたいと思いますので、よろしくお願いします。

大阪府だけでなく、日本、さらに世界においてもコロナの危機事態にあります。一致団結して府民の命を守るということで進めていただきたいと思います。

私からは以上です、よろしくお願いします。

(坪田スマートシティ戦略部長)

知事、ありがとうございました。

スマートシティ戦略部といたしましても、コロナ対策については危機感をもって迅速にできることを

対応したいと考えております。また、今しがた知事からもありましたように、関係部局と一緒に  
ワンチームでスマートシティの実現に向けて取り組んでまいります。皆様のご協力をよろしく  
お願いいたします。

以上で、大阪府スマートシティ推進本部会議を終了いたします。ありがとうございました。